



残心の考えを 常に意識

さ の じゅん き
佐野 純希 さん

昨年、釧路で開催された少林寺拳法北海道大会に単独演武の部に出場し見事優勝。次は全国優勝を目指し、日々の練習に励んでいる佐野純希さんにお話を伺いました。

少林寺拳法との出会い

少林寺 拳法は幼少のころ、太美の青少年センターに少林寺拳法の道場が開校して、剣道を経験していた両親に連れて行かれた事がきっかけで始め、中学3年まで続けていました。高校では陸上部に所属していましたが、長年続けていた少林寺拳法をまたやりたいと思い、大学生になって少林寺拳法部に入部し、再び少林寺拳法に続けることとなりました。

成長して楽しさが

大学 で少林寺拳法を久しぶりに始めると子どものころに教わっていた同じ技でも、その技の意味や内容が理解できるようになったため少林寺拳法そのものが面白くなり、さらにのめり込むようになりました。小学生の時に、北海道大会で6位入賞の実績はあったものの、少林寺拳法の楽しさ・面白さを感じるようになった大学時代には、北海道学生大会などで優勝することもできるようになりました。昨年の北

海道大会では、周りの先輩方から、「優勝できるしょ」「優勝あたりまえでしょ」など大変なプレッシャーのなかで優勝することができて、うれしいという気持ちよりも正直、ホッとした方が大きかったですね。



学生大会で演武を行う佐野さん

武道の精神を職場でも

社会人 になった今も続けていられるのは、学生時代に一緒に練習をしていた大人たちがとても楽しんでいて、自分もこういう人たちのようになりたいと思ったからです。2年前に地元当別町に就職しましたが、現在当別には少林寺拳法の道場がないため、練習は札幌まで通っています。仕事との両立は大変ですが、もともと、目標

に向かって取り組むのが好きなので、今は全国大会での優勝を目標としています。武道には「残心」という言葉があるんです。この言葉は、簡単にいうと、いかなるときにも「気を抜かない」とか「だらしくしない」というような意味で、職場でも「残心」を意識してお客様への対応を心がけています。

将来の夢

全国 大会での優勝を目標としながら、日々練習を行っていますが、現在は少林寺拳法の後輩たちの指導もしていて、少林寺拳法がメジャーな武道となるように頑張っています。

将来の夢として、この当別町に自分の道場を開き、多くの方に少林寺拳法の楽しさを伝えていきたいと思っています。

温和な表情で取材を受けてくれましたが、演武を行う表情は凛々しいです。

(4月14日取材)